

早生品種の出穂期は、平年より4日程度早い見込み(6/19現在)

〔出穂期予測〕

移植後の日平均気温などから出穂期を予測すると、

- こしいぶきなど早生品種の出穂期は、平年より4日程度早いと予想される。
- また、コシヒカリの出穂期は、平年より2日程度早いと予想される。

1 出穂期予想 (6月20日現在)

熟期 (田植時期)	品種名	出穂期 (予想)	穂肥時期(出穂前日数)				合計施肥量 (N kg/10a)
			1回目		2回目		
早生 (5/5頃)	五百万石	7/19	6/29	(20)	7/7	(12)	1～2
	つきあかり	7/21	6/26～6/28	(25～23)	7/7	(14)	6
	ゆきん子舞	7/20	6/25～6/27	(25～23)	7/6	(14)	6
	こしいぶき	7/24	7/1	(23)	7/10	(14)	2～3
中生 (5/10頃)	こがねもち	7/29	7/11～7/14	(18～15)	7/19	(10)	1～3
	コシヒカリ	8/ 5	7/19～7/22	(18～15)	7/27	(10)	1～3

※出穂期は気象条件で大きく変動するので、今後の情報に注意するとともに、穂肥の施用に当たっては、各ほ場の幼穂を必ず確認して施用しましょう。

※施肥量は一般栽培の目安であり、生育状況に応じて時期や量を調整しましょう。

※基肥一発肥料の場合でも、葉色低下が進むと予想される場合は、後期栄養確保のため出穂期前10日頃を目途に追加穂肥を施用しましょう。

2 早生品種の穂肥施用のポイント ～遅れず適期に施用～

- 早生品種の1回目の穂肥施用は、収量確保のため適期を逃さず確実に実施しましょう。
- 生育量が極端に大きく、倒伏が懸念される場合などは、遅め控えめの対応としましょう。

幼穂長と出穂前日数の目安

出穂前日数(日)	幼穂長(cm)
24	0.1
20	0.2～0.4
18	0.5～1.0
12	4.0～6.0

※ ほ場内の平均的な株の最も長い茎から3～4本を抜き取り測定する。

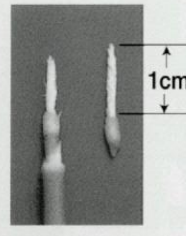
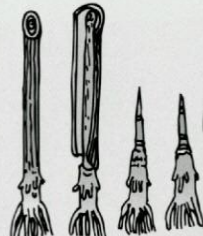
幼穂長の確認方法

〔幼穂の長さを確認する〕

〈その1 カッターなどで割る〉



〈その2 葉鞘をむく〉



(参考) 出穂前日数とイネの外観

3 中干し終了後の水管理 ～大ヒビ厳禁！間断かん水や飽水管理へ～

- 田面に大ヒビが入ると根を傷めたり、登熟期の老化が進みやすくなり、品質低下につながりやすくなります。

中干し後は、間断かん水や飽水管理で土壌水分を上手に確保しましょう。